

モデルポートフォリオと個別ポートフォリオの関係に関する論点

被用者年金が一元化されることや各管理運用主体の自主性を踏まえつつ、以下の論点についてどう考えるべきか。

- 各管理運用主体の基本ポートフォリオ（以下「個別ポートフォリオ」という。）でどの程度各運用主体の独自性を認めるべきか。例えば、ある運用資産についてモデルポートフォリオ上の資産構成割合と個別ポートフォリオ上の資産構成割合の乖離をどの程度認めるべきか。また、それとの関係で、モデルポートフォリオにはどの程度詳細に内容を定めるべきか。
- モデルポートフォリオの期待収益率（運用目標）は、財政検証で設定された運用利回りに基づき定められることになるが、モデルポートフォリオの期待収益率（運用目標）と個別ポートフォリオの期待収益率（運用目標）の関係をどう考えるか。
- モデルポートフォリオに定められていない資産区分を個別ポートフォリオで定めることについてどう考えるか。逆に、モデルポートフォリオに定められている資産区分を個別ポートフォリオでは定めないことについてどう考えるか。（モデルポートフォリオで定めるべき資産区分のあり方はどのように考えるべきか。）
- また、資産区分を設定する際に、伝統的資産以外の資産を、資産のリスク・リターン特性の類似性等の観点から、伝統的資産と同一の資産区分とすることについてどのように考えるべきか。